

# 株式会社ミュージックバード

## 第77回番組審議会 議事録

1. 開催日時 平成 31 年 3 月 6 日(水) 15 時 00 分～16 時 30 分
2. 開催場所 TOKYO FM 10階 大会議室
3. 出席者  
＜番組審議会委員＞  
矢内 廣 委員長  
福本 ゆみ 委員  
中西 健夫 委員  
  
欠席  
松尾 修吾 副委員長  
佐野 光徳 委員  
  
＜ミュージックバード＞  
代表取締役社長 雄谷 英一  
常務取締役 大橋 明夫  
取締役技師長 土屋 充央  
コンテンツ事業部 篠崎 めぐみ  
THE CLASSIC プロデューサー 清水 葉子
4. 議事内容  
(1)放送活動のご報告  
(2)番組試聴  
(3)今後の施策について
5. 配布資料  
(1)第77回番組審議会資料  
(2)第76回番組審議会議事録  
(3)Song List ハイライト記事(10月～2月)

(1) 主な放送活動の報告

◇1月改編

(新番組)

・121ch THE CLASSIC「MOSTLY CLASSIC 連動～山崎浩太郎の夜ばなし演奏史譚」

放送日時:毎週日曜18:00～20:00 (再放送:毎週土曜22:00～24:00)

・時間変更

・121ch THE CLASSIC「WORLD LIVE SELECTION」

放送日時:毎週日曜12:00～14:00 (再放送:毎週土曜20:00～22:00)

(2) 番組試聴

番組名:『MOSTLY CLASSIC 連動～山崎浩太郎の夜ばなし演奏史譚』

放送チャンネル:MUSIC BIRD 121ch「THE CLASSIC」

放送日:2019年1月27日(日)18:00～20:00《再放送 2月2日(土)22:00～24:00》

出演:山崎浩太郎

内容:なぜ名盤が生まれたのか。巨匠たちの活動とその録音を聴きながら、彼らの生涯や同時代の社会状況を捉えなおし、歴史物語として説いていく2時間のプログラム。雑誌「MOSTLY CLASSIC」連載中の企画『巨匠「名盤」列伝』にて、筆者の山崎浩太郎氏がセレクトするアルバムを中心にご紹介する番組。

<山崎浩太郎(やまざきこうたろう)>

1963年東京生まれ。早稲田大学法学部卒。歴史物語として説く「演奏史譚」を専門とする。日本経済新聞の演奏会評、専門誌『レコード芸術』『音楽の友』『モーストリークラシック』等に寄稿。著書に『クラシック・ヒストリカル 108』『演奏史譚 1954/55 クラシック音楽の黄金の日々』(以上アルファベータ)、訳書にジョン・カルショー『ニーベルングの指環』『レコードはまっすぐに』(以上学習研究社)などがある。

- MB フランス出身の世界的指揮者ジョルジュ・プレートルにスポットを当てた。日本ではドイツを中心に知名度の高い指揮者が多いがプレートルはフランス人で演奏もフランスの作曲家の作品も多かったことから当初、知名度が上がらなかったが、晩年にウィーンフィルを指揮するなどの活躍で一気に日本や世界で知られるようになった。  
案内役の山崎浩太郎氏は当社で11年出演中。
- 委員 単に音楽を聴くだけでなく、解説ガイドを求めているリスナーが多いと思う。
- MB シャベリがある番組とノントークの番組ではリスナーの求めているものが異なると考えている。音楽をBGMとして聴く方にとっては解説やトークは不要であり、より音楽を深く聴こうとする方は解説によって理解が深まる。
- MB 時間帯によっても当社では変えており、例えば平日の午前中などは解説のない音楽を流し、平日でも夜の時間帯は解説を好むリスナーが多いと判断している。特にこのような歴史的録音の音楽を紹介する番組は絡むエピソードを知ることが楽しみになっている。
- 委員 一昨年、「ムーティ、ヴェルディを語る」というトークステージがあったが、ピアノを弾きながら歌手に歌わせながら、解説を加えたものだが、クラシックにさほど詳しくない者にとっても楽しめた。音楽を聞かせるというよりも解説を聞かせることもよいと思う。
- 委員 クイーンの「ボヘミアンラプソディ」の元は何か?などは面白いと思う。
- MB 音楽を聞かせたいのか、解説を聞かせたいのかというご指摘だと思うが、貴重な音源の場合は音楽の比重を多く聞かせるようにしている。よく知られた音楽であれば音楽をさわりなどで短めにし、解説の比重を上げることもある。とは言え、クラシックでは曲も長く、第1楽章だけでなく第4楽章まで聴きたいというニーズもあるため、試行錯誤を重ねている。

- 委員 今回は語りは少なめだが、音楽とトークのバランスは良かった。また、今回の音源が希少なものであることはとても文化的価値があったと思う。
- 委員 同じ曲を指揮者が変わるとこれだけ違うというのを聞かせながら、解説すると面白い。
- MB まだまだ企画として追及できる要素があるので研究したい。

## ◇その他の施策

### ・特別番組

【特別番組】「ミュージックバード・ライブ・スペシャル」

3月29日(金)9:00~10:00 再放送=20:00~22:00

ミュージックバードがセレクトする96kHz/24bit、PCMハイレゾフォーマットで録音されたライブをお届けします。

### 第1部／趙磊(ツァオ・レイ) 二胡コンサート

中国出身で二胡の世界に新風を吹き込み、“二胡のヨーヨー・マ”と称えられる、趙磊(ツァオ・レイ)による演奏をお届けします。2018年11月来日時の代々木上原けやきホールでの演奏は、ツァオ・レイと岡山県出身のジャズピアニスト・阿部篤志(あべ・あつし)によるデュオ。ラインアップはクラシックの名曲にJ-POPナンバー、中国古典民謡、そしてピアソラ作品まで多彩。いずれも力強く、ときに妖艶なリズムが印象に残る演奏でした。(2018年11月7日、代々木上原けやきホール(古賀政男音楽博物館)にて収録)

### 【趙磊(ツァオ・レイ) プロフィール】

1979年生まれ。6歳から二胡をはじめ。1990年上海音楽学院附属小学校に入学、附属中学校、高等学校を経て1999年一位の成績で上海学院(音楽最高峰の音楽専門学校)に入学。学生時代から「上海民族楽器コンクール」優勝などコンテスト入賞多数。卒業後、2003年上海民族楽団に入団。2004年から二胡と西洋音楽のコラボレーションにチャレンジし、大好評を得た。2010年12月、日本における初のBAO単独公演でソロ演奏を担当するなど高い音楽性を披露し続けている。

### 第2部／OTOTEN2018 公開録音～ウィリアムス浩子ミニライブ

#### [アンコール放送]

THE AUDIOの人気番組「真空管オーディオ大放談」がスタジオを飛び出し、OTOTEN2018の会場へ！真空管アンプメーカー、サンバレーの大橋慎さんがゲストに人気ジャズ・ボーカリスト、ウィリアムス浩子さんを迎え音楽と音をめぐる熱いトークを繰り広げました。後半は、ウィリアムス浩子さんのミニライブ。大人気「My Room」シリーズに収録されたスタンダード曲をギターとのデュオで歌います。ミュージックバードでしか聴けないスペシャル・コンテンツ・ライブ・バージョンです。

(6月17日東京国際フォーラムホールD5にて収録)



### ・新レンタルプラン『おまかせバリューパック50』

新規契約限定。24bit対応チューナー(CDT-3AFD)、専用アンテナ(DMB-4503)、楽曲ディスプレイ(MBX-1)、標準設置工事がすべてセットされて初期費用0円の新レンタルプラン。

月額3,500円(税別)で50チャンネルが聴き放題！

・タイムシフトコントローラー「C-T10TM」 港北ネットワークサービス㈱より発売！

港北ネットワークサービスが12月に発売したタイムシフトコントローラー「C-T10TM」は、ミュージックバードチューナー「CSXiシリーズ」「CDT-3AFD」との接続で TEAC「SD-500HR」、TASCAM「DA-3000」をコントロール。ミュージックバードの高音質放送をそのまま SD カードに長時間録音やタイマー録音できます。

販売価格 59,400 円

(受注生産、税込、送料無料)

以上